

令和 7 年 4 月 1 日

但馬県民局長 様

住 所 〒〒668-0025
豊岡市幸町 7-11
団 体 名 ○○会
代表者職名 会長
代表者氏名 但馬 太郎
担当者氏名 地域 花子
(連絡先) 電 話 0796-00-0000
F A X 0796-00-0000
メー ル tajima@...lg.jp

令和 7 年度 地域活動応援事業補助金申込書

令和 7 年度地域活動応援事業を実施したいので、下記のとおり申込みます。

記

1 事業名

申込事業の事業名を記載

2 補助金の申込額

金

30 万円以内、千円単位

円

3 事業の着工予定日

令和

年

月

日

事業の完了予定日

令和

年

月

日

申込事業の開始年月日
(令和 7 年 5 月下旬以降
に設定ください)

4 添付資料

(1) 令和 7 年度 事業計画書 (別紙 1)

(2) 継続団体に係る自己分析 (別紙 2)

※過去に夢但馬応援事業助成金・地域活動応援事業補助金を活用した
ことのある団体のみ提出

(3) 令和 7 年度 収支予算書 (別紙 3)

(4) 団体概要書 (別紙 4)

(5) 規約 (会則)・会員名簿

令和 8 年 2 月 28 日までに完了すること
※ 3 月に主事業実施の場合のみ 3 月 14 日まで
(1 ヶ月以上余裕のある完了日の設定が望ましい)

令和7年度 事業計画書

申込事業の事業名を記載

1 事業の名称

2 事業の対象区域 ※該当する項目に○印を記入してください

() 但馬全域

(○) 市町単位(豊岡市・養父市・朝来市・香美町・新温泉町)

() その他()

3 事業の分野 ※該当する項目に○印を記入してください

(複数の分野にまたがる場合は主となる分野に◎)

() 保健・医療・福祉 (◎) まちづくり () 文化・芸術・スポーツ

() 環境の保全 () 地域安全活動 () 子どもの健全育成

(○) 団体活性化 () その他()

4 事業の目的・趣旨

(1) 地域の課題

(地域の現状・課題を記載してください。)

少子高齢化、活気が無いなど抽象的な表現ではなく、具体的な課題を記載してください。

若者が地域で活躍出来る場が少ない。地域を良くしたいという若者がたくさん居るにもかかわらず、活動に移せていない。

(2) 事業の目的・目標

事業を実施し、どのような地域を目指すのか分かりやすく記載してください。

**若者と一緒に事業を行い、地域資源の大切さや地域活動を自分たちが行う意味を次代へ伝え、これからの地域活動の中心となる人材を育成していく。
また、帰省している若者や、出身者にもこのイベントを知ってもらい、改めて地域の良さを再認識してもらい、定住を促進する。**

(3) なぜ自分たちが取り組むのか

(団体にどのような特色・特徴・強みがあり当該事業を行うのか)

自分たちの活動の経験から、若者がスムーズに地域活動を行えるようなノウハウを伝えることが出来る。

〇〇実行委員会とのつながりがあり、連携して活動の輪を広げることが出来る。

5 事業の内容

事業内容(事業計画)																																												
(1) 事業の実施方法 日時 8月〇日～〇日 場所 ☐☐地域周辺 内容 ・昔の町並みが残る☐☐地域の小道 300メートルに 2000 個のロウソクを並べ、ライトアップする。 ・小道を訪れた帰省客や観光客にまちの歴史を伝えるガイドを行う。 ※地元の有識者に講師をお願いし、ガイド養成講座を開催する。 ・〇〇実行委員会が主催する△△イベントと同時開催し、来場者が会場間を行き来する道も楽めるよう、ガイドや装飾を施す。 上記のイベントをメインとして、若者と地元高校生ボランティアと活動を共にする。 (2) 新規事業の場合は活動のアピールポイント、継続事業の場合は昨年度からの新たな工夫点など 〇〇実行委員会と協働し、△△イベントと同時開催することで、来場者が会場間を行き来できるしくみをつくり交流を促進する。 (3) 事業計画(企画会議等から反省会等まで時系列で記載してください。) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">月 日</th> <th style="width: 30%;">実施内容</th> <th style="width: 15%;">場所</th> <th style="width: 15%;">参加人数</th> <th style="width: 30%;">主な経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月〇日</td> <td>企画会議(実施内容確定)</td> <td>〇〇会館</td> <td>10 人</td> <td>消耗品費 飲食代</td> </tr> <tr> <td>7月〇日</td> <td>第 1 回ガイド養成講座</td> <td>△△</td> <td>15 人</td> <td>謝金・旅費 消耗品費・ 会場使用料</td> </tr> <tr> <td>7月〇日</td> <td>第 2 回ガイド養成講座</td> <td>△△</td> <td>15 人</td> <td>謝金・旅費 消耗品費・ 会場使用料</td> </tr> <tr> <td>7月□日</td> <td>全体会議(高校生との打ち合わせ)</td> <td>〇〇会館</td> <td>20 名</td> <td>消耗品費</td> </tr> <tr> <td>8月△日</td> <td>会場準備</td> <td>会場周辺</td> <td>約 40 名</td> <td>看板製作費 レンタル費</td> </tr> <tr> <td>8月〇日</td> <td>イベント当日</td> <td>☐☐地域</td> <td>約 500 名</td> <td>消耗品費 レンタル費</td> </tr> <tr> <td>9月□日</td> <td>反省会</td> <td>〇〇会館</td> <td>10 人</td> <td>消耗品費 飲食代</td> </tr> </tbody> </table> ※行が不足する場合は行を追加し、記載してください。					月 日	実施内容	場所	参加人数	主な経費	6月〇日	企画会議(実施内容確定)	〇〇会館	10 人	消耗品費 飲食代	7月〇日	第 1 回ガイド養成講座	△△	15 人	謝金・旅費 消耗品費・ 会場使用料	7月〇日	第 2 回ガイド養成講座	△△	15 人	謝金・旅費 消耗品費・ 会場使用料	7月□日	全体会議(高校生との打ち合わせ)	〇〇会館	20 名	消耗品費	8月△日	会場準備	会場周辺	約 40 名	看板製作費 レンタル費	8月〇日	イベント当日	☐ ☐ 地域	約 500 名	消耗品費 レンタル費	9月□日	反省会	〇〇会館	10 人	消耗品費 飲食代
月 日	実施内容	場所	参加人数	主な経費																																								
6月〇日	企画会議(実施内容確定)	〇〇会館	10 人	消耗品費 飲食代																																								
7月〇日	第 1 回ガイド養成講座	△△	15 人	謝金・旅費 消耗品費・ 会場使用料																																								
7月〇日	第 2 回ガイド養成講座	△△	15 人	謝金・旅費 消耗品費・ 会場使用料																																								
7月□日	全体会議(高校生との打ち合わせ)	〇〇会館	20 名	消耗品費																																								
8月△日	会場準備	会場周辺	約 40 名	看板製作費 レンタル費																																								
8月〇日	イベント当日	☐ ☐ 地域	約 500 名	消耗品費 レンタル費																																								
9月□日	反省会	〇〇会館	10 人	消耗品費 飲食代																																								

6 事業の効果

事業を実施したことにより期待される効果・成果を簡潔に記載してください。 (事業を実施することにより、地域・団体の活性化がどのように図られるか) ・企画から高校生が参加することにより、高校生ら若者に自分の地域は自分たちで良くしなければいけないという意識付けにつながり、次年度以降も若者主体の事業展開のきっかけとなる。 ・地域の世代間交流が活発となる。
--

7 事業の展開

来年度以降、事業をどのようにして継続、又は拡大して実施していくか記載してください。
(今年を踏まえてどのように事業を組み立てていくのか。どのように自己資金を確保していくのか)

- ・地域に活動を理解してもらい、協賛金を募り財源を確保する。
- ・□□実行委員会と活動趣旨など共通する部分があるので、来年度以降は互いの活動に対して協働して事業実施していく。

8 協働の相手方

(どのような団体と協力して事業を実施していくのか。単なる講師依頼は協働にはあたりません。)

団体名称	〇〇高校ボランティアサークル	〇〇実行委員会	
(団体)概要	地域で様々なボランティア活動を行っている	5年前より〇〇イベントを開催	
代表者職・氏名	顧問 〇〇 〇〇	実行委員長 〇〇	
団体住所	豊岡市〇〇	豊岡市〇〇	
協働内容	事業の企画・運営に参加	お互いのイベントを連携	

9 地域住民や実践・活動者が幅広く参画するための取り組みがあれば記載してください。

企画の段階から地元の高校に協力を求め、高校生の参画を促している。
 今後は、地域の子ども会や青年部、老人会などにも協力を求め、幅広い年齢層の意見を参考によりよい事業に発展させたい。

10 審査の結果、補助金額が減額になった場合の事業実施について

「自己資金で対応」「事業規模を縮小」「参加費徴収」等、具体的な対応策を記入してください。

- ・ロウソクの数減らす
- ・チラシ印刷費の削減(自主作成する)
- ・協賛金を募る

継続団体に係る自己分析

※過去に夢但馬応援事業助成金・地域活動応援事業補助金

複数年度で継続実施した団体は、直近の年度の事業を記載

団 体 名	〇〇会	
事 業 名	※過去に助成・補助決定を受けた事業名を記載	実施年度：令和6年度
(1) 助成金・補助金を活用し、実施した事業内容を簡潔に記載 ・令和6年〇月△日、昔の町並みが残る□□地域の小道約300メートルに約2000個のロウソクを並べ、ライトアップした。 ・訪れた帰省客や観光客にまちの歴史を伝えるガイドを行い、ガイド養成講座を開催した。		
(2) 上記事業を実施し、地域の魅力発信や活性化など、どのような成果（効果）があったのか。また、次の事業に向けての反省や課題など含めて具体的に記載 世代を越えた地域住民が参画・協働する取り組みとして実施した。 類似事業で地域活性化に取り組んでいる△市の△△グループと協働して実施することで、△市との交流にもつながり、来場者の増加につながった。 事業のアウトラインは役員を中心に決め、詳細な内容は、高校生ボランティアら若者〇人に企画運営してもらった。しかし、積極的に参加するメンバーもあれば、受け身なメンバーもいたため、次回からはメンバーのモチベーションにつながる改善策を考えなければならない。 高校生からの提案で、イベントの告知や当日の状況を X (旧 twitter) と Instagram の SNS を活用して情報発信した。イベント告知情報が X (旧 twitter) のリツイートで高校生のフォロワーを中心に〇〇件、Instagram には〇〇件の「いいね！」が付けられ、地域内外の多くの人に興味を持ってもらった。 当日は、△△△人の来場があり、参加者アンケート結果では「来年も開催して欲しい」が全体の75%と概ね好評であった。 △△人や××件など数値を使い、わかりやすく。 反省会では、概ね当初の目的（地域の世代間交流、地域の魅力発信など）は達成できたとの意見が大半であったが、「スタッフの人手が不足していた」、「ガイド養成講座の回数を増やして欲しい」との意見もあった。来年度は地域への声かけを早めに行い、協力者を増やしていきたい。 この事業成果については協力してくれた高校生が高校文化祭の教育発表会にて活動発表を行い、地域内外の人たちに情報発信することができた。		
上記（2）に記載の成果や課題に基づき、次の3項目を自己採点してください ※点数は各項目4点満点：4点（よくできた）、3点（できた）、2点（やや不十分）、1点（不十分）		
① 地域資源を活かして地域の魅力を発信することができたか	3	
② 人材の育成や世代間交流、他の団体との連携・協働など、地域の活性化につながることはできたか	4	
③ 事業終了後、団体内で事業総括を行い、その成果や反省課題を団体メンバー全員で共有し、組織力向上ができたか	2	
④令和7年3月9日たじま交流フェスタ（報告会）への参加の有無	有 ・ 無	
上記の自己分析の内容と矛盾しないように採点をしてください。 ※自己採点の点数そのものは審査会での評価に直接影響しません		合計 9 点 （12点満点）

令和7年度 収 支 予 算 書

1 収入の部

補助要領等を添付してください

(単位:円)

科 目		金 額	備 考
地域活動応援事業補助金(A)		300.000	千円単位
自主財源	他の補助金(助成金)	20.000	補助金の名称 ○○市地域活性化補助金
	企業広告費		
	参加料	15.000	大人@200×参加者50人 子ども@100×参加者50人
	他団体負担金	20.000	○○団体からの負担金
	自団体負担金	14.000	
	自主財源 計(B)	69.000	
合 計 (A)+(B)=(C)		369.000	合計(C) ≤ 200万円

※ 「地域活動応援事業補助金(A)」の金額欄には、補助金の申込額を記入してください。

2 支出の

分かりやすく整理して記載

積算根拠を記載

記載しないでください

(単位:円)

支払い内容		金 額	積算内訳	事務局査定欄	
				対象経費	対象外経費
補助対象経費	講師謝金	20.000	謝金@5000円×2名×2日	← 一人あたりの単価を記載	
	講師旅費	8.000	旅費@2000円×2名×2日 (豊岡駅-○○駅往復)		
	印刷広告費	35.000	ポスター@50円×100枚 チラシ@30円×1000枚	← 単価・枚数を記載	
	看板製作費	50.000	板@○○円×○枚 ペンキ代@○○円×○個		
	消耗品費	138.000	ロウソク@10円×4000個 マッチ@200円×50個 カップ@80円×1000個 用紙代@500円×4 インク代@6000円	同額にしてください。 (対象事業にかかる経費を全て記載)	
	レンタル費	60.000	テント@10.000円×3張 パイプイス@1.000円×30脚		
	会場使用料	15.000	@7.500円×2日		
	小計(D)	326.000	補助対象経費(D) ≥ 補助金申込額(A)		
補助対象外経費	スタッフ飲み物代	5.000			
	スタッフ保険料	20.000			
	弁当代	18.000			
	小計(E)	43.000			
合 計 (D)+(E)=(F)		369.000	合計(F) ≤ 200万円		

※ 太枠欄は事務局が記載しますので、記入しないでください。

※ 収入と支出の合計金額(C)(F)は一致させてください。

団 体 概 要 書

（ふりがな） 団体名	まるまるかい 〇〇会		構成員 人 数	50 名
（ふりがな） 代表者職・氏名	たじま たろう 会長 但馬 太郎			
団体所在地 （連絡先）	〒668-0025 住所 豊岡市幸町7-11 TEL 0796-00-0000 FAX 0796-00-0000 携帯電話 080-0000-0000 E-MAIL tajima@...lg.jp			
ホームページアドレス	http://			
事業に関する 問い合わせ先 ※上記と異なる場合	〒668-0025 住所 豊岡市〇〇1234 職・氏名 事務局 地域 花子 TEL 0796-11-1111 FAX 0796-11-1111 携帯電話 090-0000-0000 E-MAIL hanako.tajima@...lg.jp			
設立年月日 及び設立目的	設立年月日	昭和・平成・令和 22年 4月 1日		
（設立目的） 昔ながらの町並みがのこる〇〇地域をたくさんの人に見てもらい、風情ある町並みを後世に伝えていくため設立。現在は、若者を活動に巻き込み、若者に地域の良さや活動の大切さ、事業の進め方等のノウハウを伝えていくことも目的としている。				
主な活動分野 及び活動区域	活動分野 1.保健・医療・福祉 2.まちづくり 3.文化・芸術・スポーツ 4.環境の保全 5.地域安全活動 6.子どもの健全育成 7.団体活性化 8.その他（ ） 活動区域〔 豊岡 市 地区域 〕 ※市・町域、小学校区・中学校区など、活動されている区域を具体的に記入してください。			
活動実績	※ これまでに、どのような活動を行ってきたのか、具体的に記入してください。 平成22年～年に1回（8月）〇〇地域にロウソクを並べ、ライトアップ			

書類や事業について、問合せさせていただきますことがあります。
平日の昼間連絡可能な連絡先をご記入ください。

※ 団体の規約(会則)、会員名簿を添付してください。